

三仲町内会

会館場所：西神奈川公園

三仲町内会点描

神奈川区の中央を流れる滝の川の中流。東に白楽、西に斎藤分の丘に挟まれた川沿いの町通に八百屋、菓子屋、床屋、炭屋、銭湯、こまいや、どうこ屋、碁会所等々が営まれた小さな商店街を構成した町内会でした。

然し、昭和20年代区画整理から商店は殆ど解消、碁会所と餅菓子店、川べりに製館店のみとなりました。

平成頃から住宅リニューアル傾向となり、年配者が減少し家屋の建て替えと移住者が増加、その家屋はみな洋風建築に模様を替え、町内で日本家屋の餅菓子製造店一軒のみとなりました。

平成期、滝の川を地下に埋設してできた拡張道路と旧商店街道路が町内の主要二本道路となり、現在は普通の住宅街になっています。

町内の五割を超す転入家族との交流がなかなかできず、町内活動や地域交流が疎遠となり、打開に心しているのが実情で停滞気味な雰囲気を開に努めています。



殆どが洋風建築の中、一軒の和菓子屋家屋は貴重な建物。

憩いと遊び場の町内会中心部に位置する公園は、保育園児の活動にも使われ小さいながら、緑陰を漲らせる健康広場となっています。

